

P4
トピックス

米国駐在員
事務所を開設

糖質科学で未来を創る

Exploring the Innovative Promise of Glycoscience



第69期
中間報告書

2014年4月1日～2014年9月30日

糖質科学で未来を創る

生化学工業は、糖質科学に研究開発の焦点を合わせ、
独創的な医薬品の創製を通じて、世界の人々の
健康で心豊かな生活に貢献しています。



1
糖質科学を専門分野とする
研究開発型製薬企業



2
研究開発・製造に特化した
ビジネスモデルを展開



3

高品質な製品を生み出す
高い技術力



研究開発基本方針

対象とする物質を複合糖質の構成成分のひとつであるグリコサミノグリカン(GAG)とし、重点疾患を絞り込んだ効率的な研究開発活動を推進しています。

糖質科学

糖鎖や複合糖質を研究する科学分野です。近年、多くの病気と糖鎖との関係の解明が進んでいます。糖質科学の研究が進むことで、新しい治療法や診断法の開発につながることが期待されています。

10年ビジョン達成に向けた第2ステップである中期経営計画の3年目がスタート “萌芽形成”を着実に進めてまいります

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2009年3月に策定した「生化学工業10年ビジョン」のもと、糖質科学分野に研究開発の焦点を絞り、国際競争力を確立する「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指しています。

当中間期の売上高は、国内での薬価引き下げや海外医薬品の出荷が前中間期に高水準だった反動等により、減少しました。また、利益面でも新生産設備稼働による減価償却費や開発テーマの進展に伴う研究開発費の増加があり、減益となりました。

現在取り組んでいる10年ビジョン達成に向けた第2ステップである中期経営計画(2012年度～2015年度)では、“萌芽形成”、すなわち成果の芽を出すことを目的とし、各重点戦略に対して積極的な投資を行っています。

その一環として、海外での事業展開を活性化させるため、米国駐在員事務所を新設しました。特に、米国における戦略製品であるジェル・ワンや、スパルツの市場情報収集に加え、これまでより更に踏み込んだ形で販売提携先の営業活動を支援することで、両製品の販売を加速させていきます。

新薬開発面では、国内アルツの適応症追加SI-657の第Ⅲ相臨床試験、およびドライアイ治療剤SI-614の第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験の症例登録が本年10月に完了しました。また、米国で第Ⅲ相臨床試験を実施中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603については、安全性評価を主目的としたオープン試験の実施準備を進めています。

本中期経営計画期間においては、10年ビジョンの最終ステップへ向けた先行投資の期間となるため、業績的には厳しい状況が続きますが、各重点戦略は着実な進展を見せています。

今後も、持続的な成長を通じて株主価値の向上を目指し、高い信頼を得られるよう努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

水谷 建

配当に関する基本方針

1株当たり26円を基本とし、今後も安定的かつ継続的な配当を目指してまいります。

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期
1株当たり年間配当金	25.0円	26.0円	26.0円(予想)
【内訳】	中間配当金	12.5円	13.0円
	期末配当金	12.5円	13.0円(予想)
配当性向	43.6%	31.1%	42.8%(予想)

※本「中間報告書」における当中間期とは、2014年4月1日から2014年9月30日までの累計期間を表しています。

連結業績概況

ハイライト

当中間期：2014年4月1日～2014年9月30日

前中間期：2013年4月1日～2013年9月30日

(百万円)

科目	当中間期	前中間期	増減率
売上高	14,247	15,405	-7.5%
営業利益	1,564	3,488	-55.1%
経常利益	2,109	3,783	-44.2%
四半期純利益	1,687	3,118	-45.9%
研究開発費	3,397	3,068	+10.7%

売上高は、円安の影響があった一方で、国内における薬価引き下げや、海外医薬品の出荷が前中間期に高水準だった反動を受けたこと等により、減少しました。

営業利益は、売上減や新設備稼働に伴う減価償却費増加により売上総利益が減少したことに加え、開発テーマ進展に伴う研究開発費の増加もあり、減少しました。

経常利益および四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上などにより、営業利益と比べ減益幅が縮小しました。

事業部門別概況

医薬品事業

ヒアルロン酸を主成分とした医療用医薬品・医療機器の製造・販売を展開する、当社のコア事業です。

売上高構成比

82.6%



■ 当中間期の業績

国内医薬品 売上高86億6千3百万円(前中間期比5.8%減)

関節機能改善剤アルツは、市場全体が微減となりましたが、販売提携先の拡販努力により医療機関納入本数は増加しました。当社売上は、薬価引き下げの影響により減少しました。

眼科手術補助剤オペガンは、厳しい市場環境が続くなか、医療機関納入本数は増加したものの、当社売上は、薬価引き下げの影響により減少しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、手術手技の浸透により、医療機関納入本数および当社売上が引き続き増加しました。

売上高



営業利益/1株当たり純利益



総資産/純資産/自己資本比率





財務諸表など業績に関する詳細は、当社ホームページの「株主・投資家向け情報」でご覧いただけます。

<http://ir.seikagaku.co.jp/ja/Top.html> (決算説明会の動画も視聴できます。)

海外医薬品 売上高24億4千8百万円(前中間期比24.9%減)

米国向け関節機能改善剤スパルツは、3回投与の競合品が引き続き売上を伸ばしている煽りを受けて、3～5回投与である同製品の現地販売は微減となりました。当社売上は、前中間期に販売提携先の在庫積み増しがあつた反動もあり減少しました。

中国向けアルツは、主要都市の大病院を中心に高い品質が評価され現地販売が引き続き増加しました。当社売上は、現地の在庫調整があり、前中間期並みに留まりました。

単回投与の米国向け関節機能改善剤ジェル・ワンは、販売提携先による営業活動強化により大手医薬品卸を中心とした販売が堅調に推移していますが、前期に前倒し出荷があつたことから、当社売上は前中間期並みとなりました。

医薬品原体 売上高6億5千2百万円(前中間期比23.5%減)

市場環境が厳しさを増しており、ヒアルロン酸が減少しました。

トピックス

米国駐在員事務所を開設

当社はニュージャージー州ジャージーシティに米国駐在員事務所を開設しました。

今後、現地ならではのメリットを有効活用して、これまでより、更に踏み込んだ形で販売提携先の営業活動を支援することにより、ジェル・ワンやスパルツの販売を加速させていく計画です。

また、販売のみならず、様々な面での海外事業活性化にも当事務所を活用していきます。

〈米国駐在員事務所の概要〉

開設日:2014年10月15日(現地時間)

目的:現地販売員への製品教育推進、米国市場に関する情報収集等



アルツディスポ®関節注25mg



SUPARTZ®(スパルツ®)



Gel-One®(ジェル・ワン®)

LAL事業

医薬品・医療機器の品質管理に使用されるエンドトキシン測定用試薬などの製造・販売を国内外で展開しています。

売上高構成比

17.4%



■ 当中間期の業績

売上高24億8千2百万円(前中間期比18.8%増)

エンドトキシン測定用試薬の販売増加や円安効果により、増収となりました。

通期の業績見通し

※2014年5月13日に公表した予想から変更はありません。(百万円)

科目	2015年3月期 業績見通し	増減率 (前期比)
売上高	29,150	-1.6%
営業利益	2,750	-44.3%
経常利益	4,200	-28.5%
当期純利益	3,450	-27.3%
研究開発費	7,300	+10.8%

研究開発活動

生化学工業は、専門分野としている糖質科学に研究開発の焦点を合わせて、新製品の早期かつ継続的な上市を実現するために、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な活動を推進するとともに、内外の研究開発ネットワークの強化や組織体制の整備にも努めています。

開発パイプラインリスト

開発コード・物質名	適応症	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請
SI-6603 コンドリアーゼ	腰椎椎間板ヘルニア	日本				●
		米国			●	
SI-657 ヒアルロン酸	腱・靭帯付着部症 (アルツの適応症追加)	日本			●	
SI-614 修飾ヒアルロン酸	ドライアイ	米国		●	第Ⅱ/Ⅲ相	
SI-613 NSAID結合ヒアルロン酸	変形性ひざ関節症	日本		●		
SI-615 アデノシンA3レセプターアゴニスト	関節リウマチ	日本	●			

SI-6603

腰椎椎間板ヘルニア治療剤

日本：承認申請中

米国：第Ⅲ相臨床試験実施中

当社は、腰椎椎間板ヘルニアを適応症とするSI-6603について、日本においては2014年1月に厚生労働省へ製造販売承認申請を行い、審査を受けている段階です。また、米国で実施中の第Ⅲ相臨床試験に加え、安全性評価を主目的としたオープン試験を行う準備を進めています。

※腰椎椎間板ヘルニアとは、椎間板の中心にある髄核等の一部が突出することで、脊椎周辺の神経を圧迫し、痛みやしびれを引き起こす疾患です。

経営資源を集中的に投入

研究開発型製薬企業である当社は、独自の医薬品および医療機器などの創製に取り組むため、経営資源を研究開発に集中的に投入しています。

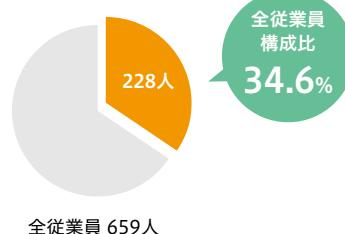
当中間期の研究開発費は、申請段階となった国内SI-6603の費用が減少した一方で、SI-614などの開発テーマが進展したことから増加しました。

研究開発費 3,397百万円 (当中間期)



研究開発要員 228人 (2014年9月末現在)

(連結ベース)



会社概要 (2014年9月30日現在)

社名	生化学工業株式会社		
創立	1947年(昭和22年)6月2日		
資本金	38億4,040万円		
従業員数	659名(連結ベース)		
事業所	中央研究所 CMC研究所 久里浜工場 高萩工場		
主な子会社	ASSOCIATES OF CAPE COD, INC. (アソシエーツ オブ ケープ コッド インク)		
役員	代表取締役社長	水谷 建	常勤監査役 三富 得司
	代表取締役専務取締役	矢倉 俊紀	常勤監査役 福本 安志
	常務取締役	宮本 政臣	社外監査役 竹内 信博
	常務取締役	大西 和明	社外監査役 佐藤 順哉
	社外取締役	片山 英二	社外監査役 山田 明文
	取締役	川村 秀樹	
	取締役	石川 慎一	
	取締役	芹沢 修	

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	234,000,000株
発行済株式の総数	58,584,093株
株主数	14,265名

大株主の状況

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	新業株式会社	7,843	13.8
2	株式会社開生社	7,293	12.8
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,324	4.1
4	資産管理サービス信託銀行株式会社 (みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口)	1,973	3.5
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,677	3.0
6	株式会社三菱東京UFJ銀行	1,536	2.7
7	科研製薬株式会社	1,207	2.1
8	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,180	2.1
9	有限会社桐栄興産	700	1.2
10	公益財団法人水谷糖質科学振興財団(公益口)	693	1.2

※ 持株比率は自己株式(1,778千株)を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

■ 事業年度

4月1日～翌年3月31日

■ 定時株主総会

6月

■ 配当金受領株主確定日

3月31日(なお、中間配当を行う場合の確定日は9月30日)

■ 基準日

定時株主総会については、3月31日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告する一定の日

■ 株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

《株式事務に関するお問い合わせ》

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL:0120-232-711(フリーダイヤル)
ホームページアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

《住所変更等のお手続》

株主さまのお取引の証券会社

ただし、特別口座に登録された株式に関するお手続は

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(左記)で受け付けます。

《未払配当金受領のお手続》

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

■ 公告方法

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://ir.seikagaku.co.jp/ja/kk.html>

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告します。

早めの治療が
大切なんだ!

ヒアルンくん



ひざ健康トピックス

「変形性ひざ関節症」ってどんな病気なの？

早期の受診でイキイキとした毎日を！

「変形性ひざ関節症」はひざの関節の軟骨が傷つくことで関節に炎症が起こり、痛みが生じる病気です。軟骨が関節を動かしたときの衝撃を吸収できなくなると、痛みが強くなり生活に支障をきたす場合もあります。50代以上の男女、特に女性に多く見られ、日本には約3,000万人[※]もの患者さんがいると推定されています。誰もがかかる可能性がある、とても身近な病気なのです。

「変形性ひざ関節症」にかかると、ひざの痛みのためあまり歩かなくなり、脚の筋肉が衰えていきます。ひざを守っている筋肉が衰えるとさらにひざに負担がかかります。このような悪循環から脱するためには、早期に受診し、治療を受けることが大切です。適切な治療を受ければ、痛みをコントロールして病気の進行を遅らせることができます。



「変形性ひざ関節症」による痛みの悪循環から抜け出し、イキイキとした毎を送りましょう。

※厚生労働省「介護予防の推進に向けた運動器疾患対策に関する検討会」平成20年 報告書

ひざイキイキ

当社は、ひざの痛みに関する情報を幅広く紹介するWebサイト「ひざイキイキ」を運営しています。

当サイトでは、変形性ひざ関節症の症状や原因、治療方法などの情報を提供しています。このほか、イキイキとしたひざを保つためのヒントも満載です。こちらもぜひご覧ください。

ひざイキイキ

検索

<http://www.ehiza.jp/>



ひざの痛みに関する
情報がたくさん掲載
されているよ!



生化学工業株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6-1
丸の内センタービルディング
TEL: 03-5220-8950

<http://www.seikagaku.co.jp/>



本冊子は、FSC® 認証紙を使用し、「Non-VOC」の大豆油を主体とした植物油系インキを使い、印刷しています。